

ボランティアだより

かすみがうら市

四季の里

第12号

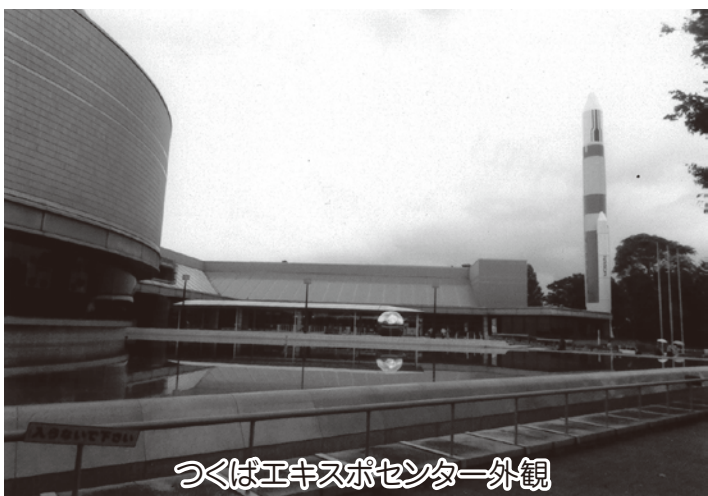
平成29年2月15日

発行

発行 ————— かすみがうら市ボランティア連絡協議会

編集 ————— かすみがうら市ボランティア連絡協議会広報委員会

事務局 ————— かすみがうら市社会福祉協議会内 ☎029-898-2527



つくばエキスポセンター外観

平成28年度
研修会に
参加して



つくばエキスポセンター展示場内

← この写真の記事は2ページにあります。

つくば方面研修に参加して

佐賀地区ボランティア 大橋 信子

九月二十八日、なんとなく雨模様な日でした。それでも八十名余りの方々が参加しました。皆さん違ったボランティア活動ですので、お逢いすることもなかなかありません。研修中いろいろなお話しをし、交流を重ねることが出来ました。

最初にエキスポセンターです。科学の世界に入ることが出来ました。なんとなく子供の様にいろいろと試しては驚き楽しみ、一時ふしぎな世界でした。

食事は、なかなか個人的には出向くことのない「東雲」です。ミニ懷石の様な食事に満足させていただきました。最後に筑波山です。女体山の方へ、つつじが丘より登りました。雨もあがり山々に、もやがかかって、それは美しい風景です。最近、筑波山地域がジオパークに認定されました。この自然の美しさと科学の都市が、緊張と心の和みのようです。たくさんの方に経験していただけたらと思います。

私達もリフレッシュして、又ボランティアに励んで行きます。



筑波山にて



プラネタリウム星空上映中



東京おもちゃ美術館見学

おもちゃ図書館ひよっこ 田口 幸次

十月二十五日、私達ボランティアサークルの今年の研修は、「東京おもちゃ美術館」の見学を行いました。

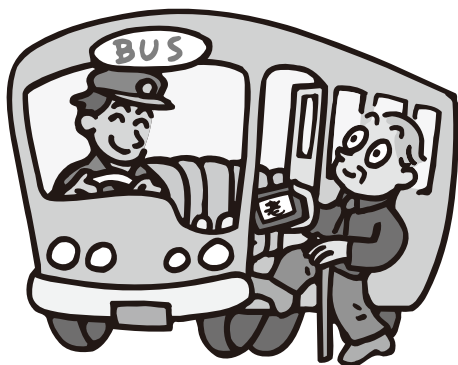
東京おもちゃ美術館は、東京メトロ丸ノ内線の四谷三丁目駅から徒歩七分の所です。この美術館は廃校になった小学校を利用して、日本のみならず、世界のアナログのおもちゃで「遊ぶ・つくる・出会う」事の出来る美術館で、子供から大人まで楽しめます。「遊ぶ」は日本や世界の伝統のおもちゃ、考える・ひらめき・発見満載の科学おもちゃ等色々なおもちゃを使って遊べます。「つくる」は易しい物から少し凝ったものまで、年齢別に楽しめる物を日替わりで作れます。「出会う」は百力国十五万点に及ぶ收藏品の中から、テーマ毎に展示しており、珍しいおもちゃを目にする事が出来ます。各コーナーにはボランティアの職員が居て遊び方やおもちゃの説明をしてくれます。更に、日本で一番のメイド・イン・ジャパンのセレクトショップがあり、館内で人気のおもちゃや日本の「グッド・トイ」を、購入も出来ます。



美術館係員より、おもちゃの説明を受けています



苑の散策を併せれば一日たっぷり楽しめます。



おもちゃ図書館ひよっこ サークル会員

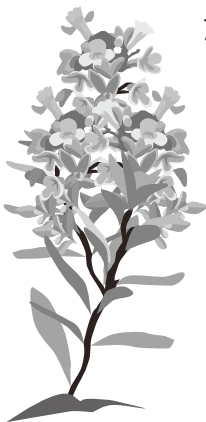
第十二回かすみがうら祭に参加して

かすみがうら市ボランティア連絡協議会

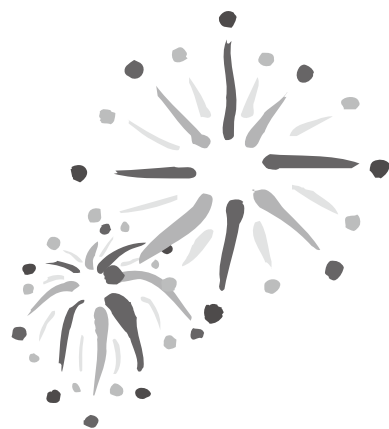
高崎 正

かすみがうら祭の日は例年天候が良く、本年も前日の曇り空とは打って違ってカラリと晴れ、朝早くから家族連れの多くの市民の皆様で賑わいました。

私達ボランティア連絡協議会は霞ヶ浦地区、千代田地区の二つのテントで、会員の皆様より御協力いただきましたバザー用品の販売を行ない、ご来場の皆様にお買い求めいただきました。販売担当の方々のご努力もあり、例年と同程度の販売金額をあげる事が出来ました。現今冠婚葬祭の簡素化もありバザー用品も各家庭で少なくなる事情がありますが、毎年多くのバザー用品の提供をいただき感謝申し上げます。なお売上金につきましては、各サークルへの活動費としての分配金、及び一部社協への協力金、共同募金及び被災地への義援金等に活用させていただきます。



かすみがうら祭出店の様子①



かすみがうら祭出店の様子②

ボランティア活動の現況

かすみがうら市ボランティア連絡協議会

高崎 正

現在当協議会には十八のサークルがあり、約二百七十名の会員が各地域で、又各方面で活動しております。組織的には合併前の昭和五十七年に千代田地区で手話サークルが発足し昭和六十年に霞ヶ浦地区の配食サービス、平成に入り千代田地区での配食サービスが続き、更に後述する各種のサークルが設立、現在に至っております。内訳を見ますと配食サービスを主体として地域の各種施設の訪問、高齢者の方々との交流を行なうサークルが九サークルと半数を占めております。他の九サークルの活動は大略以降の内容となっております。

①地域で小中学校への朝の立哨、イベントへ協力学校支援。男性への料理教室。

②電話による独り暮らしの高齢者の安否確認。時には訪問も行なう。

③各種福祉施設への訪問、各種遊戯、物作り等を通して入居者と交流。

④福祉施設の各種行事、外出の支援。

⑤手話体験学習（児童館、小学校等）

⑥未就学児童への「おもちゃ」遊び補

助。

①視覚障がい者の方々への文化、文化芸術活動の支援。

②各地域での健康体操の教室運営、指導。指導員も五十名強と大きなサークルとなっている。

以上の内容にて活動を行なっています。が、前述の②を除いて活動人員は減少気味であり、是非活動に協力していただける方々の参加を希望するところです。

芸能発表会

志士庫地区ボランティア 酒井 ミサ子

十月十九日に、千代田公民館講堂において「かすみがうら市老人クラブ連合会」主催の「芸能発表会」が開催されました。

多数の参加者が、早い時間から集い、盛大に行なわれました。歌に踊りと芸達者な方々に、会場は大盛況でした。

特に衣装が、すばらしく豪華で、とても見ごたえが、ありました。

又、地元の名士の歌手、大川あけみさん、鈴木あき子さんの、すばらしい歌声に、たくさんの方々が拍手喝采がありました。

出演者は皆、年齢を感じさせない若々しさで、イキイキとしていました。



芸能発表会会場内の様子

年々、盛大に開催される「芸能発表会」来年は、どんな発表があるのでしょうか。とても興味があります。期待が、もたれるところです。



みんなの広場

★ボランティアに携わって

(愛ネット・キャッチボイス) 川村 正子

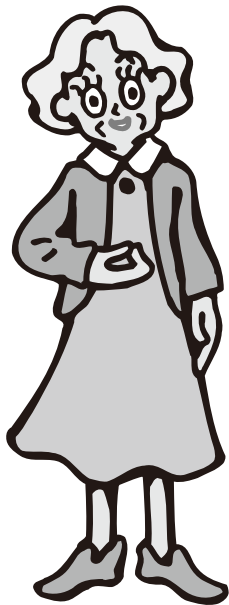
「ボ連協」に参加して、もう二十年になる。そこでの様々な経験は、家で仕事をしていた私にとって、社会との唯一の接点だったので、当初、とても新鮮だったのを覚えている。

「ボランティア」というより、「お互い様」の心で続けてきた。多少キツイな、と思うことはあっても、やめたいとは思わなかった。それは多分、私の「まあいいか」的な性格もあるが、そこで出会った多くの人達から、いろいろなことを学ばせてもらったからだ、今、改めて思っている。

大分くたびれてはきたが、最近観た「あん」という映画の中に、とてもいい言葉を見つけた。元ハンセン病患者の徳江(樹木希林)がこう呟くのだ。

『私達はこの世を見るため聞くために、生まれてきた。たとえれば、たとえ何かなれなくても、私達には生きる意味がある。』

まだもう少し、心ときめく風景に、音楽に、ふれていきたい。



編集後記

毎年自然災害・社会変動等が起る昨今であります。が、広報紙「四季の里」第十二号に原稿をお寄せくださいましたサークルの皆様、ご協力ありがとうございました。

今回、ボランティア会長より成り立ち・活動現況と各サークルの紹介をしていただきました。是非ボランティア活動にふるってご参加下さい。(毎日日曜日の方、独りぼっちの方、人生経験を活かしませんか)

あじさい館の社会福祉協議会又は直接サークルへでも結構です。年に一度発行のこの「四季の里」広報紙を皆様宜しくご覧下さい。

尚、春の熊本大震災、夏の台風十号の東北地方直撃と相次ぐ災害に遭われた方々にご冥福を祈り、又お見舞い申し上げます。又、最近が高齢者の悲惨な運転事故が多発し、その度に報道されますが、安全第一の運転に心掛けている高齢者には精神的な不安ともなりかねませんね。

広報委員一同

